

2005年のシリーズチャンピオンを決める JTUジャパンランキングシステム

2005JTUジャパンランキングは、これまでのシステムが若干変更されたものとなっている。ランキングの上位5名にQF(Quality Field)係数(表2参照)を設定し、QF係数保持選手の出場者数で大会ごとの獲得ポイントが変化することに変わりはない。

しかし今年は、大会にもレベル(下記)が設定され、かつジャパンカップ以外の大会でもポイントが獲得できる。

獲得ポイントは、大会に出場するQF係数保持選手の係数の合計プラス1を、ベースポイント(表1参照)に乗じたものとなる。もちろん、QF係数保持選手以外の出場選手も、ベースポイントが設定されている上位に入れば獲得できる。

$$\frac{\text{(ベースポイント)} \times \text{(QF係数保持選手の係数の合計+1)}}{\text{獲得ポイント(小数点以下四捨五入)}}$$

各大会終了後、QF係数はJTUジャパンランキングの変化に準じて変更される。全6戦終了後、出場した大会の上位5大会でジャパンカップが争われる。

ポイントランキング年間表彰は、最終戦の第11回日本選手権東京港大会終了後に行われる。

1.ポイント大会レベル

A 日本選手権・ワールドカップ

- ・日本選手権東京港大会
- ・ITUワールドカップ石垣島大会

B ITUインターナショナルイベント

- ・幕張大会
- ・和歌山大会
- ・天草大会
- ・七ヶ浜大会
- ・村上大会

C JTU主催大会

- ・2005アイアンマンジャパントライアスロン五島長崎
- ・JTUジュニアスプリントトライアスロンシリーズ幕張大会
- ・昭和記念公園トライアスロン大会
- ・ひわさうみがめトライアスロン
- ・日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会
- ・日本ロングディスタンストライアスロン選手権佐渡大会
- ・2005日本学生トライアスロン選手権
- ・JTUスーパープリントトライアスロン銚子マリーナ大会
- ・北海道、東北、関東、東京、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州沖縄ブロック選手権

2.ポイントテーブル(ベースポイント:表1)

	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C
1	120	100	60
2	110	92	54
3	100	84	48
4	90	76	42
5	80	68	36
6	70	60	30
7	60	52	24
8	50	44	18
9	40	36	
10	30	28	
11	25		
12	20		
13	15		
14	10		
15	5		

3.QF(Quality Field)係数(表2)

各大会最大20%がベースポイント(表1参照)に乗じて加算される。

1位	2位	3位	4位	5位
0.06	0.05	0.04	0.03	0.02

4.ポイント加算有効大会数

最大5大会までの獲得ポイントでジャパンランキングが争われる。

5.カットオフルール

男子はトップフィニッシュタイムから5%以内、女子は8%以内でフィニッシュした選手にポイントが与えられる。

6.年間トップスリーの表彰について

ジャパンランキングトップスリーには、強化費が支給される。年間チャンピオンの選手には、2006年アジア選手権の出場資格が付与される。

7.日本選手権出場資格について

2005年10月2日時点のジャパンランキングで、上位20名の選手には、第11回日本選手権東京港大会の出場資格が付与される。

